

プログラム 1 201号室 10:00~10:30

タイトル	持続性のある環境活動のために
氏名(所属)	西本雅則/橋本智之 (特定非営利活動法人ビオトープネットワーク京都)
ホームページ	<a href="http://www.jca.apc.org/bionet/">http://www.jca.apc.org/bionet/</a>
キーワード	人材育成 里山 ビオトープ
アピール文	ビオトープを中心とした環境活動をはじめ9年目になりました。コアメンバーおよびサブメンバーの高齢化や離脱による活動の衰退を防ぐ為、新たな人材育成を実施しました。お陰で新たな取り組みの開始にも繋がりました。
要旨	<p>これまでの法人の流れ</p> <p>立ち上げ当初は、多くのメンバーが集まり、少ない事業でみなが集結し、学びながら取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 3、4年目 事業の多様化および活性化</li> <li>→ 6年目 組織のあり方の見直し</li> <li>→ 7～8年目 事業の見直し 継続もしくは撤退(主導→サポート)の判断</li> <li>→ 9年目 本格的な人材養成 新たな事業展開</li> </ul> <p>9年目の取り組み</p> <p>人材養成講座</p> <p>会員所有の山科区御陵の里山を新たな活動拠点とし、人材養成をしながらその方たちと里山整備事業の開始する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新たな人材の発掘</li> <li>・ コミュニティーの拡大</li> </ul> <p>出張講座</p> <p>中高生を対象に、里山に関する講座を学校に出向き実施する。現地学習を含めた講座に展開していく計画。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若い世代への環境についての啓発</li> <li>・ 次世代の人材育成</li> </ul> <p>鴨川生き物調査</p> <p>身近な自然でビオトープの宝庫である河川の生き物調査を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般の親子には自然と触れ合うきっかけを</li> <li>・ 人材養成講座の方には、生物と住みか(ビオトープ)についての学びを</li> </ul>

●京都・環境教育ミーティング 事例紹介エントリーシート●

※以上の内容は、京エコロジーセンターのホームページで公開されています。